

グローバル・ガバナンス学会主催、南山大学アジア・太平洋研究センター、
社会科学部総合政策学専攻、総合政策学部共催講演会

ドイツの気候変動政策



ミランダ・シュラーズ氏

(Prof. Dr. Miranda Schreurs)

(ミュンヘン工科大学バイエルン公共政策研究科環境気候政策教授)

メーランド大学教授、ベルリン自由大学教授・環境政策研究所所長を経て2016年より現職。メルケル政権に原発廃止を提言した「安全なエネルギー供給に関する倫理委員会」委員、ドイツ政府「原子力・再生エネルギー政策諮問委員会」委員、「環境問題専門家委員会 (SRU)」委員などを歴任。著書に『地球環境問題の比較政治学：日本・ドイツ・アメリカ』（岩波書店、2007年）、『ドイツは脱原発を選んだ（岩波ブックレット818）』（岩波書店、2011）など。

日時：2019年1月12日(土) 14:00-16:00

場所：G棟 G25教室

※講演は日本語で行われます。



南山大学アジア・太平洋研究センター
〒466-8673名古屋市昭和区山里町18番地
Phone: 052-832-3111(代表)
Fax: 052-832-6825
E-mail: center-asiapacific@nanzan-u.ac.jp

講演会のwebサイトに
アクセスできます→

